

# 行政評価（外部評価）結果総括表

＜令和3年度実施計画分＞

令和4年7月



## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
未来を担うひとつづくり (1-1)	概ね順調	<p>人材の育成、交流の促進、学びの促進はいずれも未来を担う人づくりという政策を実現する上で、欠かせない施策であり、施策の有効性は保たれている。今後は、時代の流れに対応しながら、より良い人材の育成に向けて、より一層事業を推進されたい。特に、人材の確保・育成においては、個々人の意向の尊重と支援の充実の両面からのサポートが重要であると考えます。</p> <p>また、コロナ禍による事業縮小等により目標値に届かない事業もあるが、新たなニーズと捉え、ITの活用により時代に即した、より発展的な事業展開を図られるよう期待する。</p>	1. まちづくりを支える人材の確保・育成	57.5	<p>本施策は、課題が多く散見される。特に、まちづくりを支える新たな人材として地域おこし協力隊は地域活性化や本町への定着が期待されるが、そのためには任期終了後の支援充実が求められる。定住が困難な場合でも、関係人口として関係性を継続できる取り組みが必要である。また、地域おこし協力隊の募集にあっては、機会を増やすなど積極的な働きかけが求められる。</p> <p>また、本町には、移住や定住に必要なアパート等が不足していることから、住環境の整備促進も求められる。加えて、移住・定住に関わらず町外からの来町者を増やす、より踏み込んだ魅力的なイベントの企画も求められる。</p>	1・2
			2. 人をつなげる交流の促進	82.5	<p>本施策は、順調に推移している。ふるさと納税については、納税者数及び納税額が順調に伸びており寄付による歳入の増加や返礼品取り扱い事業者の売上増加が期待できる。ふるさと納税を通じた経済活性化や地域活性化を促進していくためにも、返礼品取り扱い事業者への助言・指導の強化を図られたい。</p> <p>また、フレンドリープラザは本町の文化・交流の拠点として非常に魅力的で重要な施設である。若年層のフレンドリープラザファンの呼び起こしを積極的に行いながら、利用者増加につながる事業の充実を図られたい。</p>	2・4
			3. 心を豊かにする学びの促進	67.5	<p>本施策は、概ね順調に推移している。フレンドリープラザは、他事業との連携による多面的な事業展開を図りながら、利用者を増やす、親しみやすい管理運営に努められたい。</p> <p>また、出前講座については、コロナ禍にあっても事業進捗が図られるようICTの利活用など対面によらない開催方法も検討されたい。</p>	5・6

## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
女性が輝く社会づくり (1-2)	概ね順調	<p>男女共同参画社会に向けて、家庭、地域、職場等、社会全体の理解の浸透に向けた、様々な取り組みが行われており、今後、更なる取り組みの充実が期待される。また、高齢者が安心して暮らせる社会、子供を安心して育てることが出来る社会に向けた適正な事業の推進を行っていく必要がある。</p> <p>男女共同参画意識の醸成には、一人一人がジェンダー問題を意識し、理解を深めていくことが必要であることから継続的な学びが求められる。また、女性の認定や登用で終わらず、実践的な場における参画も重要であると考えます。</p>	1. 女性の能力が発揮しやすい環境の整備	82.5	本施策は、順調に推移している。	7・8
			2. 誰もが安心して暮らせる環境の整備	80.0	本施策は、順調に推移している。特に、積極的に育児に参加している父親の割合は増加傾向にあり、評価できる。しかしながら、「誰もが安心して暮らせる環境の整備」について、乳幼児健診アンケートのみで評価を行うのは偏りが生じることから、KPIの設定に関しては再考の必要性を感じる。	9

## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
子どもが夢を持ち健やかに育つ環境づくり (1-3)	やや課題あり	子どもが夢を持ち健やかに育つ環境づくりにおいて行政の責任は大きく、安定した家庭環境、本当に子育てのしやすい環境を整備する必要がある。施策等を検討するにあたっては他市町村の施策や教育に携わる教育関係者や外部専門家等の意見を参考としながら、経済的な支援の充実を含め、「川西町で子育てしたい」と思われる施策の展開が必要である。	【第1小委員会深堀】 1. 子育て環境の充実	67.5	<p>本施策については、おおむね順調に推移している。子育て支援センター及び放課後児童クラブともに、子育て環境の充実を図るうえで有効な取り組みであり、共働き世帯の増加等により今後もその社会的必要性は増していくものと考えられることから、より一層のサービスの向上と潜在的な利用希望者の把握に努め利用促進を図る必要がある。</p> <p>一方、少子化が進む中、施設利用者も減少していくことが考えられることから、KPIの設定等について検討を行う必要も生じてくるものと思われる。</p> <p>また、子育て支援センターに関しては、設置場所や人材等課題が山積しているのは理解できるが、時代のニーズを考えれば各地区か少なくとも偏在を避けて設置されるべきである。</p>	10・11
				<p>子ども・子育て支援事業の主な目的は、子育て家族が経済的に安定になることにより、保護者の精神的安定性が得られ、同時に子どもにとっても家庭生活や学校生活を安心して過ごすことができるという点にあるのではないかと考える。まず、親（保護者）の経済的な安定性を目的として子育て世代を支援する方法として、就労（仕事）を希望する保護者に対しては、保護者の要望に沿って子供を預かることができるような施設・設備を整備し、また、事業を展開してはどうだろうか。より具体的な例としては、空き家となっている農地付の住宅を貸与する、あるいは、貸し出すなどの形で町（行政）が子育て世代に提供するなども一つの方法ではないだろうか。</p> <p>現在、本町には放課後児童クラブ（学童）と子育て支援センターがあるが、設置数が少ないことや偏在が問題となっており、7地区で同じサービスを楽しむよう町（行政）が主体となって「安心して子育てができる新たな構想」を作り、その運用を各地区センターや各地区の個人や事業所に委託する等、大胆な施策を講じてみてはどうだろうか。その一方で、現在機能している事業、例えばファミリーサポートセンターに関する情報を積極的に提供し、一時預かりや送迎の利用拡大を図ること、さらには、延長保育事業、病児保育事業などを拡大整備するなど、他にはない総合的に先進的な施策をとってもらいたい。</p> <p>子育て世代に対する住宅取得、仕事（雇用）の斡旋、また、子育て支援についての町独自の施策を展開することにより、町外から子供や子育て世代を呼び込む魅力的な施策となるのではないかと考える。</p>		

## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
			2. 地域・家庭・学校が連携した教育の推進	85.0	<p>本施策については、順調に推移している。地域学校協働本部ボランティア協力者数が増加し、地域・学校・家庭が一体となり子供を育てる環境が整備されるとともに、町内全小中学校にコミュニティ・スクールが設置され地域の持つ様々な教育資源を活かす体制が構築されていることは評価できる。</p> <p>一方で、地域の特色（芸術・文化、農業、環境など）を子供達が学び、地域内で伝承していくには地域主導であることが望ましいが、現状では学校主導による標準的な事業となっており、また、その活動内容が地域に認知されていないように感じられる。その原因として、地域に主導的役割を担える人材がないこと、学校教員のほとんどが他地区、他地域の出身であることから地域の特色を把握できないこと等が挙げられることから、地域主導で事業を行い、支える人材をその地域で発掘する努力が必要と思われる。</p>	12・13
			3. 幼児・児童・生徒の学び力の育成	47.5	<p>本施策については、やや課題があるものと見受けられる。全国学力・学習状況調査及び英検3級合格率が低迷している原因について、正確に分析を行うとともに、他自治体における対応等についても調査研究を行うべきである。事業業績が伸び悩んだり、低迷したりする場合は、事業評価を誰が行っているか、内部評価だけで終わっていないか、厳しい評価をする評価者がいるかなど、評価システムそのものを見直す必要がある。行政、学校関係者は評価に関して素人の域を出ないので、専門家の評価を受けるべきと考える。幼児・児童・生徒の学力向上には、学習意欲や関心・興味を喚起する取り組みが必要であると考えられることから、今後の事業展開に期待したい。</p>	14・15
			4. 健やかに育む教育環境の充実	50.0	<p>本施策については、やや課題があるものと見受けられる。授業におけるICT機器活用に関する指導方法の工夫や、指導できる教員の配置等に努めるとともに、ICT教育に対する保護者の認識も深めていく必要がある。</p>	16

## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
生涯現役で生活できる健康元気づくり(1-4)	概ね順調	<p>政策として概ね順調であるが、超高齢社会を迎えた町民の健康づくりは、生活習慣病等が増加傾向にあり、医療費負担の増加とともに大きな社会問題にある。</p> <p>また、現代社会は多様なストレス要因があふれており、若い世代からの健康づくりに向けた議論を進めていただきたい。</p> <p>さらに、各種支援策の広報周知を充実させると共に、関係する当該者からの意見を十分聞き取り、過度にならない支援を実施することで政策目標の達成を期待する。</p>	1. 心と体の健康づくりの推進	73.0	<p>施策として概ね順調ではあるが、国の平均自立期間（男性79.9歳・女性84.2歳／国保データベースより）を上回って欲しい。</p> <p>また、少子高齢化の中で、体力づくりや食生活の改善、健康診断の受診を徹底するなど施策に向き合うための啓蒙活動が重要である。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ登録者数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響もあると思うが、働く人の年齢が上がり参加できない人が増えたことも要因と思われることから、クラブ登録者数の増大が健康づくりに直結するのか疑問であるため検討願いたい。</p>	17~19
			2. 地域医療の充実	79.7	<p>施策として概ね順調ではあるが、国の平均自立期間（男性79.9歳・女性84.2歳／国保データベースより）を上回って欲しい。</p> <p>また、少子高齢化の中で、体力づくり、食生活の改善や健康診断の受診を徹底するなど施策に向き合うための啓蒙活動が必要である。</p> <p>ジェネリック医薬品利用拡大については、開業医院及び薬局などに積極的に働きかけると共に、患者には財政面や個人負担がどれだけ軽減されるか、数値や図表で説明し利用促進を図るべき。</p>	20~22
			3. 地域福祉の推進	50.0	<p>施策としてはやや課題がある。</p> <p>現場の体制整備や専門職等の確保が必要とされており、県福祉事務所との事務事業の連携を期待したい。</p> <p>また、高齢者の生活保護世帯については、シルバー人材センターでの就労なども協議検討願いたい。</p>	23
			4. 高齢者福祉の充実	85.0	<p>施策としては順調であり、介護保険関連事業の継続が重要である。</p> <p>また、地域サロンについては、高齢化と地域の希薄化が進み、コロナ禍の中で開催がネガティブな傾向にあることから、各地区交流センター等の協力を得ながら人材の育成が必要と考える。</p>	24・25
			5. 障がい者（児）福祉の充実	60.0	<p>施策として概ね順調ではあるが、障がい者の勤労意欲の向上のため、施設とのネットワーク構築と訓練等の支援事業の充実及び雇用先の確保に努めていただきたい。</p>	26

## 行政評価（外部評価）結果総括表（令和3年度実施計画）

（視点1ひとつづくり）分野別目標：「集まる」まちをつくる

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由	KPI No.
川西ブランドづくり (1-5)	概ね順調	政策として概ね順調であるが、コロナ禍による制限はあるもののSNS等の様々な媒体の活用までは至っていないと思われることから、川西ブランドを効果的に情報発信する活動や手法について検討し、交流人口や関係人口による経済循環を期待する。	1. 地域資源の評価と共有	67.5	<p>施策として概ね順調ではあるが、森のマルシェについては、平日の来店客増に取り組むべきと考える。</p> <p>また、商品の固定出展品に変化が感じられないことと、他団体等とのコラボイベントを検討願いたい。</p> <p>フレンドリープラザのコロナ禍による利用者減については、今後のコロナ対策やPLA'S会員の募集による利用者増を期待する。</p> <p>さらに、フレンドリープラザイベント時の町内外からの来客に対し、森のマルシェによる特産品の販売を実施して商品PRと売上増を検討願いたい。</p>	27・28
				67.5	<p>施策として概ね順調である。</p> <p>米沢牛枝肉A5等級格付については、更なる品質維持向上のため、生産者の意欲向上と町の生産環境支援が不可欠である。</p> <p>また、ダリヤ園、浴浴センターまどか、パークゴルフ場、米沢牛等の観光資源についてもSNS数増加に合わせてブランディングに取り組み、コロナ禍で需要が増えている屋外イベントや、バーベキューなどのアウトドアを置賜公園等で開催するなどブランドづくりにリンクさせてPR拡大を願いたい。</p>	
			【第2小委員会深堀】 2. 川西ブランドの構築と活用	深堀施策 (まとめ)	<p>切り花ダリアブランド化戦略支援事業については、ブランド化を進めるにあたっては生産者の収入増につながる必要があり、重要業績評価指標（KPI）である「市場に流通する川西オリジナルダリア品種数」増よりも、流通量や売れ筋品種のリサーチによる栽培量産に取り組むべきと考える。</p> <p>また、ダリアは華やかな花ではあるが日持ちが良くないことから、行政や生産者団体が連携して研究機関等に改良を依頼し、球根の徹底した管理と規制を設けることでブランド化につながると思う。</p> <p>さらに、PR方法として、町民の協力を得ながら町全体をダリアの花でいっぱいにすることができれば、マスコミ、SNS、口コミ等で拡散され「川西町」＝「ダリア」が浸透すると考える。</p> <p>については、ダリヤ園での切り花販売や鉢植ダリアの販売等の観光とのタイアップや、他産業とのコラボ商品開発、冠婚葬祭業や花屋への売り込み等により川西ブランドとして競争力のある産業となることを期待したい。</p>	29・30

プロジェクト・第2期川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略

プロジェクト名	評価点数	評価の理由	KPI No.
【リーディングプロジェクト】 1. メディカルタウン整備推進プロジェクト	80.0	今後の整備推進に期待したい。目標を達成するよう円滑な整備を進められたい。	75~79
2. 地域経済活性化プロジェクト	55.0	農業産出額は基準値を下回ったものの、森のマルシェの来場者数や出荷登録者数、新規認定農業者数、ダリヤ園の入園者数など農業関係人口や観光人口は増加傾向にあり、特に森のマルシェに関しては、その立地優位性から道の駅的作用を持たせるなど企画の工夫により一層の地域活性化に繋がるものと思われる。また、ダリヤ園に関しては、イベントの際だけでも臨時駐車場を設け臨時バスの運行を行うなどの対応を行い、来園者の快適性に配慮していただきたい。 一方、中心市街地活性化に関連した駅の運営については、民営化による多機能化を図り、小松地区全体の多極化を視野に入れた検討も今後進めていく必要があると思われる。また、創業・企業の件数が非常に少ないのは今後の重要な課題であることから、先進事例等を参考としつつ、置賜の中心に位置するという本町の強みを生かした大胆な施策の展開を図っていただきたい。	80~92
3. 移住・定住・交流促進プロジェクト	60.0	プロジェクトは概ね順調と思われる。 移住・定住・交流促進には、子育てし易い環境や高齢者の身近で手軽な足（交通手段）が必要と考える。 また、コロナ禍も緩やかな回復傾向にあり、感染予防対策をとりつつ本町体験や見学、イベントでのPRの機会が増えることと、里の暮らし推進機構の活発な活動に期待する。	93~101
4. 男女共同参画推進プロジェクト	80.0	全ての項目で数値が増加傾向にあり、概ね順調であると評価される。なお、伸び率が小さい項目については、重点的に取り組み達成率を向上されたい。男女共同参画の推進は、SDGsのジェンダー平等を背景に、世界的に求められる指標となっている。世界における日本のレベルを認識しながら、取り組む必要がある。	102~108
5. 町民総活躍プロジェクト	70.0	プロジェクトは概ね順調と思われる。 町民に形で見える戦略が求められており、各地区交流センターを中心とした誰もが参画できるまちづくりの企画実施を期待する。 また、置賜農業高等学校には資格取得支援等による入学者数増と、地域住民とのつながりを持つプロジェクトの強化を期待する。	109~118
6. 安心して暮らせるまちづくりプロジェクト	75.0	プロジェクトは概ね順調と思われる。 災害対策全般について町民は前向きに対応していると思う。 それぞれの組織や地域で防災対策の意識向上がみられ、今後は講習会等の実施による防災対策の充実・維持に期待する。	119~126